

賛否などの態度決定に至った理由・討論

令和7年 3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第64号 令和7年度松戸市一般会計予算</p> <p>議案第65号 令和7年度松戸市国民健康保険特別会計予算</p> <p>議案第66号 令和7年度松戸市松戸競輪特別会計予算</p> <p>議案第68号 令和7年度松戸市駐車場事業特別会計予算</p> <p>議案第69号 令和7年度松戸市介護保険特別会計予算</p> <p>議案第70号 令和7年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算</p> <p>議案第71号 令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算</p> <p>議案第72号 令和7年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算</p>
議員名・会派名等	嶋村新一 日本共産党
賛否態度	反対
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>私たち日本共産党は、本会議および委員会での討論という議員の権能を最大限に活かすことこそ責任であると考えます。非公式のこの場に、議会で発言してもいない議員が意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるとの考えから、以下、本会議・委員会など公の場で討論した内容(抜粋)を掲載いたします。</p> <p style="text-align: center;">** 以下 **</p> <p>日本共産党の嶋村新一です。ただいま、予算審査特別委員会に付託された議案第64号、2025年度一般会計、第65号国民健康保険、第66号競輪、第68号駐車場事業、第69号介護保険、第70号後期高齢者医療、第71号新松戸駅東側地区土地区画整理事業、第72号相模台地区土地区画整理事業の特別会計の予算案8件に反対の討論を行います。</p> <p>なお、議案第67号公設市場の特別会計、第73号及び第75号の上下水道事業、第74号病院事業の事業会計はいずれも賛成したことを申し添えるとともに、審査、ヒアリングにご対応いただいた職員の皆さんに感謝を申し上げます。</p> <p>今回の予算案を、1つは地域の公共的な課題を地域の実情に即して解決するものになっているか、2つはその事業を実施するプロセスが民主的に行われているか、3つは国、政府の政治や行政への抑制機能を、市が発揮しているか、4つは社会的な弱者の方たちへの施策がしっかり予算化されているかという4つの視点で審査しました。</p>

まず、一般会計予算についてであります。

物価高騰に大変な思いをしている市民に物価高騰対策としての中学生までの給食無償化、フリースクール利用者への補助、温暖化対策や防災対策としての体育館への空調整備工事費等、がん患者への支援事業の拡充や補聴器購入の一部補助事業などの事業予算は、タイムリーさ、緊急性、社会的な弱者への支援として評価します。

しかし、審査の中で課題が確認でき、以下指摘します。

まず、市職員の労働安全衛生と健康管理については、市の重点政策、子ども政策に関わる部局職員が長時間労働になっており、職員全体でも精神的な疾患が増加していることが明らかになりました。時間外労働が多い職場への安全配慮、ストレスチェック後に要配慮者を産業医面談へつなげる指導など、もっと労働安全衛生委員会の機能を強化していくことを強く求めます。

ハラスメントについては、アンケートをとったり、幹部職員の研修や相談窓口設置等を行い、ハラスメント防止に努力している点は伺えましたが、事案発生後の対応として当該関係者を人事異動させるだけでは不十分です。何よりも市長はじめ幹部職員の方たちが「ハラスメント根絶宣言」をすることが重要です。宣言の実施を求めます。

次に新庁舎管理については、新庁舎基本構想を検討する庁舎整備検討委員会には新たなたたき台案が示されましたが、最終形はまだ流動的です。市民が新庁舎整備基本計画案の内容をパブリックコメントの実施段階で知るのであれば、いつもの繰り返しで市民からまた大きなアクションが起きかねません。新しい出前講座だけでなく、もっと規模を大きくした情報共有する手立てを重ねて求めます。

市が管理する防犯カメラについては、市民の個人情報記録されている DVD、警察からの照会を求められた DVD を書面で「処理」を求めているのか、「処分」を求めているのかをたどしました。市の管理簿に警察官の同意サインを求める点は新たなチェックではありますが、まだ不十分です。無実の市民の個人情報を保有していることは違法である判決が出ているのですから、あくまでも「処分」を確認することを警察に求めるべきです。引き続き求めます。

特別養護老人施設については、待機者が今年1月1日、700名を超えています。市の実施したアンケートでは介護を自宅で希望する方が6割、入所希望が3割などの結果から次期計画改定までは新たな特別養護老人施設の建設は行わないとしていますが、これから高齢者の単身者が増えていくことを考えると、第10期の計画に向けて検討を重ねて求めます。

児童虐待等早期発見・対応については、相談、虐待、一時保護を求めたいずれの件数も増加傾向であり、また、一時保護を求める理由のな

かに保護者の心身の不調があり、緊急的な対応が常に求められていることも明らかになりました。職員への精神衛生面での配慮を求めます。

こども誰でも通園制度については、来年度実施の施設数が増えますが、受け入れ準備ができた施設から実施することが明らかになりました。また、子ども数が減少しているなか、幼稚園経営も厳しく多くの園が預かり保育を実施している実態が浮き彫りになりました。ただ、保育の死亡事故は約7割が0～2歳児、しかも昼寝の時間に起きていることを考えると、保育士の配置基準が一時保育に準じるという体制には不安が残ります。保育事故を防ぎ、子どもの命を守るために専門の保育士の手厚い配置と専門の部屋が必要です。十分な対応を求めます。

花火大会については、もともと魂や霊を供養するために上げられ、地域の企業などの協賛を得ながら、市民には無料で行われてきました。しかし、現在は競輪事業収益を活用しながら、なお席の有料化もしています。

また、水辺拠点事業の江戸川・ふれあい松戸川周辺は100種類以上の野鳥が生息する河川敷となっています。こうした豊かな河川敷などをPFI方式で民間に安易に開放していく方向性が検討されています。

この2事業の現状や方向性はあまりにも商業的で、本来の花火大会の趣旨や河川敷の自然の豊かさをそこねることにならないでしょうか。自治体は営利企業ではなく、過度の有料化や民間活力には抑制的であるべきです。

交通利便性については、高齢者が増え、運転免許証を返納すれば交通弱者になります。そういう方々は公共交通の充実を強く望んでいます。すでに困っている高齢者にタクシー券補助、コミュニティバスの充実・拡充、民間バス会社への支援などを早急な対応を重ねて求めます。

市営住宅については、学生や単身若年層にも入居対象者を広げる必要性を求めました。困窮度が高い高齢者や障害者の方から優先的にはわかりますが、現在、地価も上がり、落ち着いていた家賃も値上がりが始まっています。若い方たちの移住を考えるならば、少なくとも三世同居住宅支援よりも優先的な政策課題と考えます。

北山会館の管理代行とごみ収集委託については、北山会館は指定期間に定期昇給なしという仕様書で公契約しています。この物価高騰の中、最低賃金が年5%ずつ値上げしている状況のなか、住民の福祉の増進を旨とする自治体が結ぶ契約ではないと指摘します。ごみ収集委託料は総額の75%が人件費、増額分も人事院勧告などの影響で87%が人件費であることが明らかになりました。しかし、職員にこの

人件費分が反映されるかは不透明です。このごみ収集委託は随意契約であり、今回の民間保育施設の保育士の賃金調査と同じように市が何らかの形でチェックする仕組みを強く求めます。

最後に教育情報推進は、支援センターの委託料が年2億円前後、タブレット賃借料が小中学校で約 2 億5000万円、タブレット修繕費も導入から4年間で約3億円、支援センターの委託料は来年度からはタブレット経費と同じように市の負担になることが明らかになりました。あまりにも高額な学習道具で、市の財政負担になっています。一方、産育休や病休の代替え教職員の未配置は、改善されていません。年度末に向かい、ここ10年あまり右肩上がりが増え、子どもたちの学習権を十分保障できるものになっていません。ある学校では年度末には5名以上の欠員が出ている学校もあります。国のGIGAスクール構想で使われるICT教育予算と教職員の定数改善に充てられる予算があまりにアンバランスです。現場が切実に求めているのは、授業や担任ができる職員の配置です。市単独でもそうした職員の予算化を強く求めます。

以上、評価すべき点はあるものの、市民生活の実情、プロセスの民主性、国、政府の政治や行政への抑制機能に問題点、課題点を残す本予算案に賛成できません。

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の特別会計については、審査のなかで本市高齢者を中心とした低所得化が進んでいる実態が明らかになりました。地方自治体としての財政努力は評価しつつ、いずれの特別会計においても国負担の増額がなければ、運営していけないところまで来ています。社会保障制度充実のため市から国への要望を強く求め、反対とします。

また、駐車場の特別会計については、緊急性や必要性に納得がいかない料金値上げを含む予算案には反対とします。

最後に新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計は市民や議会への情報不足、相模台地区土地区画整理事業特別会計は、新拠点ゾーン整備計画と市役所移転建て替えと一体の事業のため、市民との合意形成や情報共有が不十分であることや松戸中央公園と相模台公園の緑が削減されることなど認めがたい点があるため、予算に反対いたします。

以上、会派を代表しての討論といたします。皆さんの反対への賛同をよろしくお願いいたします。

2025年3月25日 本会議 討論